

寄付・寄贈ありがとう

▽県豊工業組合



県豊工業組合の中島三喜理事長と佐々木紀夫相双支部支部長は9月24日、八幡小学校を訪れ、同小学校に豊を寄贈しました。

県豊工業組合は、豊の良さを再認識してもらうため平成13年より県内の小・中学校に豊を寄附しています。豊は、同校多目的ホールで使用されます。

※豊は、中村第一小学校、中村第二小学校、桜丘小学校、磯部小学校にも同様に寄贈されました。

▽明治安田生命

明治安田生命保険相互会社による寄付は10月1日、市役所で行われ、同社の森口高志東北地域リレーション本部長兼北海道地域リレーション本部長ら3人が訪れました。

同社の「地元の元氣プロジェクト」の一環で、本市にゆかりある同社従業員の募金などが寄付されました。立谷市長は「子どもたちのために大切にに使わせていただきます」と感謝の言葉を述べました。



包括連携協定締結「JAふくしま未来」



「相馬市とふくしま未来農業協同組合との包括連携に関する協定締結式」は9月20日、市役所で開催され、立谷市長とふくしま未来農業協同組合の数又清市代表理事組合長が協定書に署名しました。

同協定は、農業振興、食糧・食育、震災復興や風評被害払拭などの分野で、市と同組合が相互に連携を図りながら協力することで、地域経済の発展・持続性向上および安全・安心な暮らしの実現を目指すことを目的としています。

市内各地で開催

地域ふれあい敬老会

地域ふれあい敬老会は9月7日から、市内5、820人の75歳以上の方を対象に各地区で開催されました。

玉野地区は84人に招待状を送付し、9月16日に玉野公民館を会場として敬老会が行われ、42人が参加しました。

参加者らは、振り込め詐欺防止講話を聞いた後、公民館の講座受講生らによるスコップ三味線の演奏やダンスなどのアトラクションを楽しみました。



夫婦で支えた50年金婚を祝う会

市金婚を祝う会は9月27日、総合福祉センター（はまなす館）で開かれ、結婚50年を迎えた夫婦22組が出席しました。

当日は、立谷市長があいさつし、代表の坂田操さん、モト子さん夫婦に祝い状と記念品を手渡しました。続いて立谷市長は、招待者席を回り祝状などを手渡しました。

式典後の祝宴では、八幡幼稚園、飯豊幼稚園、日立木幼稚園の園児らによるお遊戯が披露され、花を添えました。



「福とら」今季初漁 相馬双葉漁協



相馬双葉漁業協同組合によるトラフグの今季初漁は10月1日に行われ、原釜漁港など相馬双葉漁協管内から26隻の漁船が出港しました。

当日は、同漁協管内で約1・2トンの水揚げしました。石橋正裕同漁協ふぐはえ縄操業委員長は、「初日は、約45センチメートルで昨年より大きいものが多く粒ぞろい。おいしいトラフグを県内外の皆さんに味わってほしい」と初日の漁を振り返りました。

相馬の歴史や文化に触れる

相馬中村城まつり

第8回相馬中村城（馬陵城）まつりは10月6日、中村城跡などで開催され、多くの市民らが訪れました。

同まつりは、相馬中村城の跡地で市の歴史を体感する行事として、市観光協会が主催。当日は、御神楽大会のほか、一日騎馬武者体験、相馬中村藩古式炮術演武などが行われました。

訪れた人たちは、相馬の歴史や文化に触れる一日を楽しみました。



伝統の味 八幡神社ふるさと行事 「いもずいも」



ふるさと行事「涼ヶ岡八幡神社例大祭」は、9月20日～21日に、同神社の境内で行われ大勢の人でにぎわいました。境内では、八幡小学校の児童らが作った絵竹灯籠の展示などが行われたほか、夜には社殿がライトアップされ辺りは幻想的な雰囲気包まれました。

期間中は、サトイモの吸い物「いもずいも」が提供され、地域の名物を食べるに訪れた多くの人が、伝統の味を笑顔でほお張っていました。

金管楽器の力強い響き

そうま音楽夢工房演奏会

そうま音楽夢工房第81回演奏会「東北の音楽家達による秋の金管コンサート」は9月14日、市民会館で開催され、市民ら約140人が訪れました。東北各地を中心に活躍中の演奏家5人で構成された「東北ブラスファミリイ」が出演。当日は、バレエ音楽「ラ・ペリ」より「前奏用ファンファーレ」（P. デュカ作曲）などの演奏が披露され、訪れた人たちは、金管楽器の力強い響きに聞き入っていました。



こいくちしょうゆで農林水産大臣賞

全国醤油品評会受賞報告

第51回全国醤油品評会受賞報告は10月1日、市役所で行われ、合資会社山形屋商店の渡辺和夫代表社員が立谷市長に報告しました。

受賞した商品は、同社の「ヤマブン本醸造特選醤油」など2点で、特に「ヤマブン本醸造特選醤油」は最高賞である農林水産大臣賞を受賞。

同社は、3年連続7度目の最高賞受賞であり、立谷市長は、その功績をたたえました。



小・中学校防災教室・防災訓練

▽向陽中学校



向陽中学校防災体験活動は9月19日、同校1学年100人を対象に開催されました。

同活動は、災害発生時に自分で考え、住民のために行動しようとする姿勢を養うことを目的に実施。

当日は、自衛隊による講話を聞いた後、市の避難所で実際に使用されているワンタッチテントの設営体験などの活動を行いました。

生徒らは、真剣な表情でテントを設営し、災害時に周囲と協力することの大切さを学んでいました。

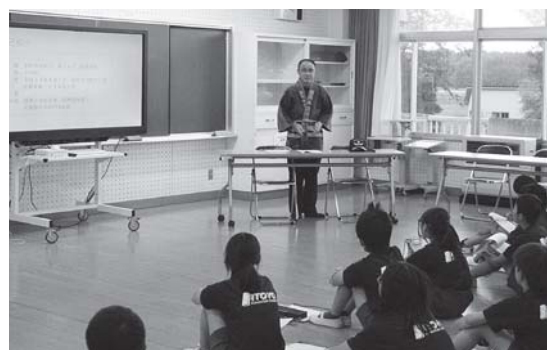
▽飯豊小学校

飯豊小学校の防災教室は9月20日、同校5年生の児童34人を対象に行われました。

同教室は、消防団の重要性を理解し防災意識を高めることを目的に実施。

当日は、市消防団第7分団（飯豊地区）の猪狩浩孝分団長らを講師に招き、消防団活動の講話や防火服着用体験などが行われました。

児童らは、地域防災の精神を学び、消防団が地域防災に重要な役割を果たしていることを実感していました。



▽桜丘小学校



桜丘小学校の避難訓練は10月3日、同小学校で行われ、児童396人が参加しました。

同訓練は、災害から命を守るための迅速な行動と安全な退避を身に付けることを目的に実施。

当日は、地震後に近隣住宅から火災が発生したことを想定した訓練が行われ、同校の木村裕之校長が「本気で訓練に取り組みていました」と講評しました。

児童らは、災害時の行動への理解を深めていました。

交通事故をなくす

秋の全国交通安全出動式

交通事故を防ぐ秋の全国交通安全全運動出動式は9月19日、スポーツアリーナそうま第二体育館で行われ、交通安全関係団体などが参加しました。

式では、市交通対策協議会長の立谷市長があいさつしました。続いて、県警察音楽隊の演奏が披露され、交通ルールの順守を誓いました。

式典後は、県警察音楽隊のファンファーレに送られて白バイやパトカーが発進し、市内をパレードしました。



地域を守る 山岸自主防災会防災訓練

山岸自主防災会の防災訓練は9月29日、山上公民館で実施され、山上山岸地区の住民ら11人が参加しました。

当日は、相馬消防署の署員を講師に招きAEDの使い方を実践的に学んだほか、市農林水産課の職員がクマの被害を防ぐ方法などの講話を行いました。

参加者らは、いざというときに備えて身を守る方法などを真剣に学んでいました。



全国大会・東北大会での活躍願う

スポーツ大会出場報告

▽ビーチバレー ボール



スポーツ大会出場報告は9月12日、市役所で行われ、全国大会に出場する武田智也選手（相馬高校3年）と佐藤瑛翔選手（相馬高校2年）が訪れました。

武田選手らは、7月に開催された第51回東北総合スポーツ大会で3位の成績を収め、9月に佐賀県で開催された第78回国民スポーツ大会に出場。

立谷市長は選手らを激励し、奨励金を手渡しました。

▽バドミントン

スポーツ大会出場報告は9月24日、市役所で行われ、東北大会に出場する青木綱駕選手（飯豊小6年）ら4人が訪れました。

選手らは、8月24日に開催された第30回福島県小学生バドミントン選手権大会でそれぞれ優秀な成績を収め、10月12日から白河市で開催された第30回東北小学生バドミントン大会に出場。福地憲司教育長は選手らを激励し、奨励金を手渡しました。



▽ソフトテニス



スポーツ大会出場報告は10月3日、市役所で行われ、東北大会に出場する松本倫佳選手（八幡小5年）が訪れました。

松本選手は、8月に開催された第31回福島県小学生学年別ソフトテニス大会で優勝し、10月に秋田県大館市で開催された第34回東北小学生学年別ソフトテニス大会など2大会に出場。

報告を受けた福地憲司教育長は松本選手を激励し、奨励金を手渡しました。

県内の美しい景色を駆け抜ける ツール・ド・ふくしま

福島復興サイクルロードレースシリーズ第7戦ツール・ド・ふくしまは9月14日～15日の2日間、浜通りを中心に県内15市町村を舞台に開催され、約520人が参加しました。

ロードレースは、9月14日に市道大洲松川線などの沿岸部を、9月15日に相馬中核工業団地西地区などの山間部を走るコースで行われました。

参加者は、太平洋や松川浦などの美しい景色を駆け抜け、さわやかな汗を流しました。



相馬市チーム惜敗

市町村対抗軟式野球大会

第18回市町村対抗福島県軟式野球大会に出場した相馬市チームの初戦は9月21日、信夫ヶ丘球場（福島市）で行われ、只見町チームと対戦しました。

相馬チームは4回に2点を先制をされ、苦しい展開。

その後、草野投手が我慢の投球を続け、6回には中村主将の二塁打でチャンスを出し、惜しくも0対2で敗れました。



独創的なアイデアをたたえる市発明展表彰式



第57回市発明展の表彰式は9月25日、市役所で行われ、入賞者が出席しました。

今回の発明展には、79点

の応募があり、日常生活で有益か、努力の跡が見える

かなどが審査され、市長賞など17点が選ばれました。

表彰式では入賞者に賞状と記念品が手渡され、入賞者をたたえました。

受賞した作品17点は、10月26日、10月27日に郡山市で開かれた第70回福島県発明展に出品されました。

【入賞者（敬称略）】

●相馬市長賞

▽森稀子（桜丘小2年）しゅう中バイザー

▽新妻理歩（八幡小5年）

ハンズフリードライヤースタンド

▽菊池充（桜丘小5年）ギプスでも持てるもん

●福島県発明協会会長賞

本郷琉奈（中二小6年）素手で洗える神！手袋スポンジ

●相馬市教育委員会教育長賞

▽佐藤大心（桜丘小4年）スケール付きはさみ

▽菅野瑛心（桜丘小4年）臭わなハンガー

▽羽根田凱叶（桜丘小5年）はなれていても助ける棒

●相馬商工会議所会頭賞

▽國分桜志（桜丘小5年）消しかすキャッチ

▽森渉人（桜丘小5年）「あつ忘れた！」がなくなるサイフ手帳

▽田中李征（桜丘小5年）レスキューボール

●福島民報社賞

▽奥山礼彩（桜丘小6年）暑さ対策スパーマント

▽柳澤優里（八幡小2年）さわやかうちわ

▽安部幸真（桜丘小4年）

最後まで絞りグリップパー

●福島民友新聞社賞

▽穴久保海斗（桜丘小6年）レゴと鍵収納のコラボ

▽村岡葵斗（磯部小3年）どこでもフック

▽菅野基陸（八幡小4年）カエルいけ！いけ！

●河北新報社賞

高玉紗季（中二中1年）自由な長さに切れるメモ紙

●学校賞

▽桜丘小学校

▽八幡小学校



リーフレタスを学校給食に提供そうまーHীগリーンエネルギーセンター



そうまーHীগリーンエネルギーセンターが養殖と水耕栽培を組み合わせる農法で栽培したリーフレタスを活用した学校給食は9月26日、日立

本小学校で提供されました。同野菜は、市へ給食用食材として無償で提供されたもの。当日は、同野菜を使ったカラフルサラダなどが市内小・中学校6校で提供されました。

児童らは、サラダをおいしそうに食べていました。

科学の面白さを学ぼう

子ども科学フェスティバル

2024市子ども科学フェスティバルは10月5日、スポーツアリーナそうまで開催され、多くの親子らが参加しました。

会場には、市内の高校や専門学校、企業などによる科学実験などを体験できる22のブースが設けられました。

参加者らは、水素ロケットを飛ばしたり、モーターを作って回る動きを体験したりするなど、科学の面白さに触れる一日を過ごしました。

